

REDD+



Reducing emissions from deforestation and forest degradation and the role of conservation, sustainable management of forests and enhancement of forest carbon stocks in developing countries

REDDプラスに係る 森林技術者講習会 開催のお知らせ

基礎講習

応用講習

地球温暖化防止対策を世界各国が参加して議論する、気候変動枠組条約締約国会合（UNFCCC,COP）では、REDDプラス（途上国における森林の減少・劣化に由来する排出の削減及び森林保全）の検討が加速しています。

森林総合研究所REDD研究開発センターでは、このような課題に対応できる人材を育成し我が国の国際貢献を支援するため、海外で活躍するREDDプラス技術者の養成講習を実施します。

講習日程

基礎講習 平成 26 年 11 月 25 日(火)～11 月 28 日(金)

応用講習 a. 平成 26 年 12 月 17 日(水)～12 月 19 日(金)
b. 平成 27 年 1 月 21 日(水)～1 月 23 日(金)

受講の流れ

本講習は、基本的な知識・技術の習得を目的とした「基礎講習」と、具体的かつ実践的な内容の習得を目的とした「応用講習」の 2 段階に分けて実施します。（詳細は裏面に記載）

受講者



通常の受講の流れ

基礎講習

応用講習

応用講習は、基礎講習レベルを習得している方が対象



REDD プラスに係る森林技術者講習会概要【基礎講習・応用講習】

海外で活躍する REDD プラスの技術者を養成する目的で、REDD プラスに関する概論とリモセン並びに地上調査の組み合わせにより、現地での活動に直結するプログラムとなっています。本講習は、基本的な知識・技術の習得を目的とした「基礎講習」と、具体的かつ実践的な内容の習得を目的とした「応用講習」の2段階に分けて実施します。

■基礎講習

研修期間：平成26年11月25日（火）～11月28日（金）

研修場所：東京都千代田区六番町7 日林協会館

応募人数：20名程度（応募多数の場合は選考いたします）

受講料：無料

応募資格：どなたでも応募できます。ただし、応募者多数の場合は、海外で REDD プラスに関連する業務に従事する予定のある方、森林調査、海外林業協力の実務経験のある方を優先させていただきます。

【講習内容】

基礎講習では、REDD プラスに関する総論的な内容について、国際的な議論の経緯と最新の状況を基に概説するとともに、REDD プラスの具体的な実施の際に必要な基礎知識に関する講習を行います。

<講師予定>

林 真智（国立環境研究所）

松本光朗（森林総合研究所） 他

基礎講習プログラム

日	程	タイトル	方式
1 日目	午前	REDD プラス概論	座学
	午後	REDD プラスに係る国際的な議論の趨勢	座学
		CookBook について	座学
		森林炭素モニタリングの設計と参照レベルの要件	座学
2 日目	午前	森林炭素把握のための地上調査実習	実習
	午後		
3 日目	午前	森林炭素モニタリングの基礎	座学
	午後	森林炭素量の把握	座学
		REDD プラスにおけるリモートセンシングの役割	座学
4 日目	午前	衛星データの種類の入手の際の留意点	座学
	午後	リモートセンシングを用いた森林面積の把握手法	座学
		森林炭素変化量の推定	座学
		今後に向けての課題	座学

注）講習プログラム及び講師は、変更する場合があります。

■応用講習

応用講習では、下記の2つのプログラム（応用講習 a、b）を実施します。

研修期間：a. 平成26年12月17日（水）～12月19日（金）

b. 平成27年1月21日（水）～1月23日（金）

研修場所：東京都千代田区六番町7 日林協会館

応募人数：各10名程度（応募多数の場合は選考いたします）

受講料：無料

応募資格：ab 共通、基礎講習のレベルを習得している方（本年度基礎講習修了者を含む）。a リモートセンシングに関する実務経験や大学等での基礎的な技術の習得経験のある方。b 英語による文書作成経験がある方。

【講習内容】

a. 高度・実践的なモニタリング手法の実習

地上調査（熱帯林におけるサンプリング調査）の具体的な設計や、衛星データによる森林変化の時系列的な抽出、それらの組み合わせによる森林炭素把握手法の実習等、REDD プラスを実施するうえで必要となる実務的な技術の習得を目指します。

<講師予定>

金森匡彦（一般社団法人 日本森林技術協会）

七海 崇（一般社団法人 日本森林技術協会） 他

b. REDDプロジェクト開始に必要なプロジェクト設計書(PDD)の作成実習
GHG 排出量削減・吸収のための自主的市場において、最も広く使用されている認証システムである VCS を中心に、プロジェクト設計書(PDD)作成に係る講義、実習を行います。

<講師予定>

浦口あや（一般社団法人コンサベーション・インターナショナル・ジャパン）

平塚基志（三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング） 他

応用講習 a プログラム

日	程	タイトル	方式
1 日目	午前	地上調査の設計	座学
	午後	REDD プラスにおけるリモートセンシングの利用と留意点（SAR データについて）	実習
2 日目	午前	森林炭素量の把握	座学
	午後	森林炭素変化量の推定について	実習
3 日目	午前	リモートセンシングを用いた森林の時系列解析	実習
	午後	総合討論	座学

応用講習 b プログラム

日	程	タイトル	方式
1 日目	午前	REDD プロジェクト PDD の作成に向けて①	座学
	午後	REDDプロジェクトの企画からPDDの作成に向けて	座学
		REDD プロジェクト PDD の作成に向けて②	座学
2 日目	午前	GHG プロジェクトの審査と REDD プロジェクト	座学
	午後	VCS の概要、VCS Project Description Template について	座学
3 日目	午前	グループ別実習①	実習
		グループ別実習②	実習
	午後	PDD 作成実習、総合討議	実習
		今後に向けて	座学

注）講習プログラム及び講師は、変更する場合があります。

応募要領

【応募期限】基礎講習：平成26年11月14日（金）まで

応用講習 a：平成26年11月28日（金）まで

応用講習 b：平成26年12月25日（木）まで

応募要領と応募用紙は REDD 研究開発センター、または日林協のホームページからダウンロードしてください。なお、応募申請は研修事務局あての電子メールのみで受け付けます。

実施機関：（独）森林総合研究所 REDD 研究開発センター

ホームページ：<http://www.ffpri.affrc.go.jp/redd-rdc/ja/>

講習事務局：（一社）日本森林技術協会

ホームページ：<http://www.jafta.or.jp/>

電子メール redtr@jafta.or.jp

